

## 研究計画概要

|             |   |
|-------------|---|
| 助成年度・種別     | 2018年度 一般研究助成   |
| 研究代表者       | 羽間京子  |
| 所 属         | 千葉大学  |
| 研究テーマ       | 若年犯罪者の被虐待体験等の被害体験と犯罪との関連に関する研究  |
| 研究計画概要      | <p>欧米諸国では、多くの実証研究によって、児童虐待はその後の少年非行のみならず、犯罪、特に暴力的で重大な犯罪との関連性が高いことが示されてきており、さらに、児童虐待以外の被害体験も、犯罪のリスク要因になるとの指摘がなされている。しかし、日本では、このような研究はほとんどみられない。</p> <p>本研究は、被虐待体験及び児童虐待以外の被害体験(以下、被虐待体験等の被害体験)と犯罪との関連を明らかにし、犯罪予防策、及び、再犯防止のための矯正教育や保護観察などの留意点を論じることを目的としている。</p> <p>具体的には、(a) 刑事施設の比較的若年(20代から30代)の被収容者を対象に、被虐待体験等の被害体験に関する質問紙調査を行い、(b) 同じく刑事施設の比較的若年の被収容者のうち、重大な犯罪を行った者を対象に面接調査を実施する。上記(a)と(b)の分析を通して、被虐待体験等の被害体験と犯罪の関連を探索的に明らかにする。さらに、アメリカの研究結果との比較を行い、日本の犯罪者における被虐待体験等の被害体験と犯罪への影響の特徴を浮き彫りにし、上述した目的である議論を展開していく。</p> |
| 選考委員からのコメント | <p>本研究は、質問紙調査によるものだけではなく、個別の面接調査で得られたデータをグラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析から、被害体験と犯罪との関連を明らかにしようとするものである。量的研究と質的研究の統合された研究デザインであり、研究準備も着実に進められている。研究成果に期待したい。</p>   |